

先住民と伝統 —カナダ・バンフセンターでのダンスドラマトゥルギー

中島那奈子 (ダンス研究・ダンスドラマトゥルク)

<http://www.nanakonakajima.com>

1、これまでの研究と背景

- ・『古いと踊り』外山紀久子、中島那奈子編著、勁草書房、2019年
- ・Nanako Nakajima, Gabriele Brandstetter eds, *The Aging Body in Dance: A Cross-cultural Perspective*, Routledge, 2017
- ・日本舞踊
- ・研究パフォーマンス 能から「トリオA」へ

2、バンフ・センター・フォー・アーツ・アンド・クリエイティビティについて

カナダのロッキー山脈に囲まれたアルバータ州バンフ国立公園内

1933年に設立された教育施設で劇場やギャラリーを併設

Land Acknowledgement：その土地を守ってきた人々に敬意を表す声明

3、ダンス・アーティスト・イン・レジデンス

六組のダンスカンパニーの滞在制作を三人のドラマトゥルクがサポート
演目ドラマトゥルギー

4、マーガレット・グレニアーについて

- ・「ダンサーズ・オブ・ダメラハミド」振付家
- ギックソン族の伝統を継承：スキーナ川沿いに住んでいたカナダ北西海岸インディアンと呼ばれる民族
- ・トーテムポールなど特色ある美術
 - ・伝統的な言語・文化禁令／ポットラッチ禁令
 - ・世代を超えた家族親戚がダンサー
 - ・生き方と踊り
 - ・お年寄り

[トレイラー映像 SPIRIT AND TRADITION (2010)]

5、ダイナ・アシェベについて

- ・カナダでメティスと呼ばれる先住民出身の若手振付家
- ・コンテンポラリーダンスの北南米ヨーロッパのマーケットで成功
- ・オーディションで各都市の若いダンサーを公募

- ・裸体でのパフォーマンス
 - ・うづくまる、吠える、身体部位を動かす、相手の身体によじ登る、ポーズしたまま静止する高度な身体能力
 - ・自然とのレゾナンス
 - ・次回作 My Tale On A Fish's Body (2023)
- [トレーラー映像 J'ai pleuré avec les chiens - Time, Creation, Destruction (2021)
裸体表現あり]

6、カナダ先住民の歴史と問題

- ・政府による先住民の土地の剥奪という歴史
- ・貧困や犯罪率の高さとアイデンティティ
- ・インディアン法
- ・カトリック教会による先住民寄宿学校（1870年代から1990年代まで）

7、先住民と伝統 — ドラマトゥルクができること

- ・ダンスでのドラマトゥルクの力：動きを組み立てその重要性を読み取り、一つのパフォーマンスに組み立てていく能力、物を見る技能、眼差し
- ・「立会人、対話パートナー、編集者としてのドラマトゥルク」ギー・クールズ
- ・ホワイト・ゲイズ？
- ・ヨーロッパ由来のコンテンポラリーダンスとローカルな先住民の伝統舞踊
- ・二人の振付家、二つの伝統
- ・水のドラマトゥルギー